

彦根市子ども・若者プラン 平成27年度事業概要

基本視点	1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり
施 策	1 (1) 子ども・若者を応援する体制の整備充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●(仮称)子ども・若者支援ネットワークの整備、(仮称)子ども・若者支援センターの設置に向けて、子ども・若者支援検討会を開催し、具体的に検討した。また、子ども・若者の支援機関等の情報を掲載した「彦根市子ども・若者支援ガイドブック」を作成した。(子ども・若者支援事業) ●男女共同参画に関する身近な問題やワーク・ライフ・バランスをテーマとして出前講座を行った。また、「人権のまちづくりフェスタ」において、「子育て」をテーマとした講座を行った。ウィズにおいても、男女共同参画セミナーや親子で参加できる事業など、様々な講座等を開催した。(男女共同参画社会づくり地域等啓発事業、男女共同参画センター管理運営事業、市民人権啓発推進事業、人権のまちづくりフェスタ開催事業)
施 策	1 (2) 子ども・若者育成のための社会環境づくり
	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもセンター・ふれあいの館において、平成28年度より指定管理者による管理運営に向けて、業者選定・引継等を行った。(子どもセンター管理運営事業、ふれあいの館管理運営事業) ●市内10地域において地域子ども教室を実施し、小中学生を対象とした文化活動、体験活動など地域の特色を活かした教室を開催した。(地域子ども教室推進事業)
基本視点	2 子ども・若者の育ちに応じた支援
施 策	2 (1) 地域における子育て支援の充実
	●子ども・若者課に子育て相談窓口を開設し、市民からの相談に応じるとともに、必要に応じて関係機関と連携し対応した。また、地域で活動する子育てサポーターとして、養成講座・スキルアップ講座を開催した。(地域子育て支援事業)
施 策	2 (2) 保育・教育の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●平田幼稚園の施設整備に当たり、幼稚園の定員割れと保育所の待機児童の解消を図るため、(仮称)平田認定こども園の新築・開園に向けて検討委員会を立ち上げ、新築基本設計および実施設計について協議を行った。((仮称)平田認定こども園整備事業) ●公立幼稚園・保育所の老朽化に伴う整備に合わせて、効率的・効果的な整備を行うための基本計画となる公立幼稚園・保育所施設整備計画を策定した。(児童福祉法施行事業) ●運動量を確保した授業改善や健やかタイム(業間10分運動)などに取り組んだ。(小中学校体育振興事業) ●放課後児童クラブについては、増加する入会児童数、特に夏休み限定の申込者の受け入れを行うため、学校と共有できる教室や専用室への空調設備等の整備や、新たな専用棟の整備を行った。(放課後児童クラブ整備事業)
施 策	2 (3) 自立に向けた支援
	●(仮称)子ども・若者支援ネットワークの整備、(仮称)子ども・若者支援センターの設置に向けて、子ども・若者支援検討会を開催し、具体的に検討した。また、子ども・若者の支援機関等の情報を掲載した「彦根市子ども・若者支援ガイドブック」を作成した。(子ども・若者支援事業)【再掲】
基本視点	3 みんなが共に育つための子ども・若者への支援
施 策	3 (1) 児童虐待・配偶者への暴力などの防止
	<ul style="list-style-type: none"> ●11月12日に児童虐待防止啓発映画上映会を行い、その日の夜に彦根城オレンジライトアップにより虐待の啓発を行った。また、オレンジリボンを大型量販店で配布したほか、市の関係機関職員全員に配付し啓発を行った。(児童虐待防止対策事業、家庭児童相談室運営事業) ●11月の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて街頭啓発を行うとともに、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ、彦根城の夜間ライトアップを紫色で点灯し、パープルリボンのメッセージを呼びかけた。また、大型量販店の女性用お手洗いにDV啓発カードを設置した。(配偶者暴力相談事業)
施 策	3 (2) 青少年非行の防止
	●非行等をおこす可能性のある青少年や犯罪を犯してしまった青少年の立ち直りを支援する活動(「自分探し支援」「生活改善支援」「就労支援」「就学支援」「家庭支援」の5つの個別プログラム)に取り組んだ。(青少年支援センター設置事業)

施 策	3 (3) ひきこもりやニートなどへの支援
	<ul style="list-style-type: none"> ●(仮称) 子ども・若者支援ネットワークの整備、(仮称) 子ども・若者支援センターの設置に向けて、子ども・若者支援検討会を開催し、具体的に検討した。また、子ども・若者の支援機関等の情報を掲載した「彦根市子ども・若者支援ガイドブック」を作成した。(子ども・若者支援事業) 【再掲】
施 策	3 (4) 障害のある子ども・若者への支援
	<ul style="list-style-type: none"> ●障害のある人や子ども、その家族からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等必要な支援を行った。(相談支援事業) ●発達障害またはその疑いのある人およびその保護者ならびに関係者を対象とした発達相談を行った。平成 27 年度に「彦根市発達支援関係機関会議設置要綱」を定め、相談、研修・啓発、連携体制整備の全てを本格的に開始した。(発達支援推進事業) ●湖東福祉圏域 1 市 4 町の共同事業として、社会福祉法人 ひかり福祉会に対し、職場開拓員と就労サポーターの雇用経費の一部を助成した。障害のある人の新規就職への支援や、職場定着につなげる取組みを行った。(働き暮らし応援センター事業)
施 策	3 (5) ひとり親家庭など、家庭の状況に応じた支援
	<ul style="list-style-type: none"> ●ひとり親家庭の自立を助長するため母子・父子自立支援員を、また就労を支援するためプログラム策定員を設置した。(ひとり親家庭自立支援事業) ●ポルトガル語やタガログ語に対応した支援員を市内小中学校に派遣し、児童生徒への支援を行った。(国際理解教育推進事業) ●経済的に困窮している世帯や生活保護被保護世帯の子どもの学力向上を支援し、将来、経済的な困窮に陥ったり生活保護を受給するという負の連鎖を断ち切ため取り組んだ。(生活困窮者自立支援事業) ●中央中学校において土曜教室「てみる」を開設し、側面的支援により、子どもたちの自主的学習の促進を図った。(学校支援地域本部事業)
基本視点	4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり
施 策	4 (1) 安心して出産・子育てができる環境づくり
	<ul style="list-style-type: none"> ●助産師もしくは保健師が妊婦を訪問し、心身状態の確認や妊娠中の悩みや不安の相談を実施した。(妊産婦・新生児訪問指導事業) ●彦根公共職業安定所、彦根商工会議所等と連携し、市内の事業所を訪問し、企業内公正採用・人権啓発を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの理念のもとに、働き方の見直し、育児休業制度、一般事業主行動計画の策定・推進についての啓発を行った。(雇用対策事業)
施 策	4 (2) 乳幼児の発達と保護者への支援
	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての乳児がいる家庭に 4 か月までに訪問し、子育てに関する情報提供を行ない必要時助言やサービスの提供につなげた。(乳児家庭全戸訪問事業) ●新生児および妊産婦を訪問し、疾病の早期発見、育児支援を行い、円滑に育児ができるよう支援した。助産師もしくは保健師による新生児の身体計測、一般状態の確認、母親の心身状態の確認、育児内容の確認を行った。必要に応じて、育児指導、子育て情報の提供をした。産後うつのある人には再訪問を実施し、育児不安の軽減と虐待防止を図った。(妊産婦・新生児訪問指導事業) ●育児不安の高い人や孤立している人、子育てへの負担感を感じている人に対して、親支援プログラム(ノーバディーズパーフェクトプログラム)を実施し、育児不安の軽減、仲間づくりを行った。(親子グループミーティング事業)
施 策	4 (3) 安全・安心なまちづくり
	<ul style="list-style-type: none"> ●「子ども 110 番の家」と連携した誘拐等防止訓練を金城学区(中地区公民館)で実施した。(青少年健全育成事業) ●登下校時において、交通事故防止や防犯のために、地域ぐるみで取り組むことができた。また、児童の下校時には、毎日巡回パトロールを実施し、学校・地域・関係機関が連携して、子どもの命を守る活動を活性化してきた。不審者情報については、迅速に対応し、市民へ情報提供することができた。(防災・安全教育推進事業、学校防災教育推進事業、子ども見守り活動推進事業)